論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 880 号	氏名	栗原　慎太郎

学 位 審 査 委 員	主　査	前田　隆浩
	副　査	大園　惠幸
	副　査	宮﨑　泰司

論文審査の結果の要旨

１．研究目的の評価

本研究は、新興感染症である重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の症例と疫学調査をもとに病態や臨床的背景の解明を目指したもので、目的は十分に妥当である。

２．研究手法に関する評価

症例数の少ない SFTS に関して、臨床所見や血中サイトカイン濃度などの経過から病態解明に取り組むとともに、臨床的背景が明らかになっていない SFTS の拡がりを解明するため、マダニと接触する危険性の高い集団に対して抗体検査を実施することで、不顕性感染に関する疫学的調査を行っており、研究手法としても妥当である。

３．解析・考察の評価

SFTS の病態や他の疾患との鑑別点、予後予測因子等の一端が明らかにされ、SFTS に対する今後の診療に資する重要な知見が示された。また、SFTS の不顕性感染が低頻度であるという臨床的背景が明らかにされたことで、SFTS の実態解明へつながる可能性が示唆された。今後、SFTS の感染防止や予後改善に向けた研究の進展が期待される。

以上のように本論文は SFTS 研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。